

## 大会実行委員会総括会議開催

11月16日(水)午後5時より、第4回大会実行委員会総括会議を台東区浅草「むぎとろ本店」で開催しました。10月26日に全機工連東京大会を終え、残務整理が概ね済んだ時期の開催となりました。総括会議には大会実行委員24名が出席し、小川修一理事長、山田雅英大会実行委員長のあいさつの後、事務局より大会準備のための会議開催経過や大会収支状況が報告されました。大会における改善点や今後継承すべき点については出席者全員が発言し、9年後の東京大会に申し送りしました。会議終了後は委員会としては最後の懇親会に切り替え、お互いの労をねぎらいました。大会報告は、平成29年1月発行の全機工連「かいほう144号」に写真で綴る東京大会として行うことにしました。大会をお手伝いいただいた多くの方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

## 教養セミナー開催

### 「いつのまにかトップが認知症に!？」

#### ～いつから認知症の兆候は見つかるか～

11月26日(土)午前10時より、機械工具会館3階会議室で医療法人社団京浜会京浜病院理事長・蒲田医師会会長の熊谷頼佳先生を講師としてお迎えし「いつのまにかトップが認知症に!？」～いつから認知症の兆候は見つかるか～と題してセミナーを開催しました。熊谷先生には平成23年10月にも認知症に関するセミナーをお願いしたことがあり、今回は続編としてお話いただきました。出席者は通常のセミナーとは異なり、ご夫婦でのご参加が6組12名など総勢30名となりました。



熊谷先生のご講義は大変わかりやすく、たくさんの事例を紹介しながら出来るだけ専門用語を使わずご説明いた

だきました。特に「患者に障害がある、能力が欠けている、〇〇できないと考えるのはやめて」⇒「障害があってもコミュニケーションをとる方法を考える(言葉に頼らないコミュニケーション手段)」「相手の能力に応じたレベルの要求にとどめる」「〇〇出来なければ私が代わってしてあげる」などを行うことが大切である(逆転の発想)とご教授いただきました。セミナー終了後は熊谷先生と参加者で昼食会を開催し、理解と懇親を深めました。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

## 経済産業省素形材産業室との 定期意見交換会開始

11月17日(木)午前11時から約1時間経済産業省素形材産業室において全機工連としては初めて意見交換会を行いました。この企画は、全機工連東京大会へ経済産業大臣のメッセージや素形材産業室長のご出席をお願いしている中で、これまで薄かった行政との意見交換会を定期的に行うお話がありました。特に東京大会にご出席いただいた新藤義孝代議士(前総務大臣)のご尽力もあり実現したものです。意見交換会には素形材産業室長の蘆田和也氏、室長補佐の岡本武史氏、企画調整担当の織原勇人氏のご出席をいただき、全機工連からは常任理事の関谷隆雄氏(東機工副理事長)、理事の高島伸一氏(神奈川理事長)、東京西部組合監事の河村清氏と事務局長の一條が出席しました。会議では全機工連から機械工具業界の現状や課題を報告し、素形材産業室からは日本の製造業の課題や政府の取組みなどが報告されました。今後、お互いの理解を深めるため定期的に意見交換を確認しました。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

## JIMTOF 招待券ありがとうございました

組合だより10月号でJIMTOFの招待券をご提供いただいた会社をご紹介しましたがその後、近常精機株式会社様よりご提供いただきました。ありがとうございました。

## JIMTOF 事務局よりのご報告

11/17(木)～22(火)に東京ビッグサイトで開催してありました、モノづくりの祭典JIMTOF2016は、おかげさまで無事に閉幕いたしました。総来場者数は、東京ビッグサイト開催以降、最大の147,602人(速報)そのうち、海外からの来場者は11,585人でした。

